夕刊 磐城新聞
八月三十一日發行
發行所 磐城新聞合資會社 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

對社會私見（上）

水野忠諺

この一篇は夏の宵の感傷の所産である。型を壞した詩と思つて讀んで戴きたい。勿論藝術的研究ではない。

×

生活は鬪爭か？馬鹿！生活は相互扶助だ。スミスよ引込め。マルクスもまだまだだ。左右田は實踐を理論で導こうとする足で飯を食ふ男だ。

社會政策は世界的に（ロシアも含めて）不滿と誤謬と虛榮で食傷してゐる。

深刻なる人類生活の過渡期だ、社會は一刻も早く社會科學界にキリストの出現を期待してゐる。

×

マルキシズムの人類文化への貢献は學理的瑕瑾を補つて尚燦然たる光を歷史の上に放つてゐる。人類文化はキリスト、孔子、釋迦の宗教的色彩の濃厚なりしをカント、ヘーゲル、マルクス以前としそれ以後は急速にそして切實に批判的、實驗的、辨證法的色彩を帶びてきた。

即ち文化は所謂神の御手によつて築かれた絢爛華麗の天上の宮殿から豪壯艶美な地上の城廓となつてきた

それはいかなる進步を意味するか？

×

私は文化に二つの面があると思ふ。即ち一つの面は金で作られ、も一つの面は精神（この言葉は誤解の恐れが充分あるがこゝではこのまゝ用ひておく）で作られてゐると。

そして精神力が金の作用を圓滑に運轉した時完全な文化が生れると思ふ。これは最も困難な人類的努力であり、又眞に人類の理想ではないか。

現代の文化は思ふにこの逆であらう。私はマルクスが唯物史觀体系を樹立した眞の意味を彼の學の反對性にも係らずかく解釋したい一人であり、又かくマルキシズムを解釋せんとする全くの同志を有する、又かく解釋する事は必しも不能、不合理をくぐり拔ける輕業師の曲藝ではない。即ちこの斷案はマルクスの有名なる題命『存在は意識を決定する』に矛盾しない。ヘーグルの歷史哲學は歷史の眞の形相を內面的に我々の視野に展開し新しい文化價値への追求を人類に附與し沈滯した中世紀的暗黑世界の刷新に參與して大功あつたカントが人間に自我を與へて人間を神の奴隷から救つた點も亦同樣の功績ありと認められる。上述の人々の大功ならびに、その他の科學者哲學者達の思索はかくて今日の壯觀とも稱し得べきアメリカ、ロシヤ、ドイツ、イギリス、ニホン、イタリアの文化を作り、アフリカ土人の生活を分析した

即ち今日の文化は時間的に空間的に自由に正則に系統的に全面的に現象を理解する事に成功してゐるこれはひいては科學萬能の力を誇示する事となり機械文明隆盛の一大動力となつた樣である然しこゝに我々が最も關心すべきはこの科學的研究の隆盛の結果、即ち樣節的觀念橫行の結果人間が再び過去の形式論理前的機械作用そのものへの轉落の路を辿る樣になりつゝありはしないかといふ事である

マルキシズム、スミスの科學、左右田の經濟學がその偉大なる功績にも係らず未だ廿世紀のクリスチャニテーでないといつたのは吾人をして彼等の學がこの危惧を抱かしめる缺點ありと思はしめるが故である。

即ち上述の結論として私の言はんとするは　代科學文明は發展の方法と方向を誤りたり、といふ事である（讀者よ、この結論を非辨證法的なりと言ふ勿れ）

早春賦（詩）

磯上六花

早咲きの梅の蕾よ
柔らかき微笑を秘めて
山里の春のさきがけ
連山の峯はまだ白く
印象的な感情を
鮮明に村人の心に刻みつける
丘に萠え出づる若草の芽
たん綠の生命は
早春微妙な光の中に躍る

晩秋の山

かさ／＼と淋しい音をひゞかせて
落葉が終日
凋落の秋をさゝやいてゐる
暮れのこつた雜木林の中の
褐色のくきが細々と一本
ほの明るい夕明りにみえ透いて
そだを背負つた人の
積つた落葉をふんで來る
輕やかなひゞきが聞えてくる

時代警語

○怒る者は內空し……………（瀧澤馬琴）

小人匹夫は辱しめらるれば劍を拔いて起ち身を投げ出して鬪ふが之れを勇氣と賞する事が出來ぬ、天下の大勇は驚かず動かず、怒らず、之れ其挾持する所甚だ大にして志す處が甚だ高遠だからである…………

〔社會の今日〕

○

炊き立ての初茸飯に豆腐汁　山の眞甚に匂ひ立つかも　神原克重

籠のぞく人にな見せぞわが籠の　初茸は二つ三つばかりなり　中原綾子

9月1日 △佛國セダンの戰爭（一、八七〇）△東京青森間鐵道開通（明治二四）△三都に市制を布く（明治三二）△關東大地震死者十萬（大正十二）△明治神宮壁畫公開（昭和二）△陪審法施行（同三）△低資五千萬圓融通を閣議で決定△神戸區に區制實施、八區を設く△上越線開通、東洋一の淸水トンネル開通（同六）

拈華微笑

◇蓋棺事定。今後組合內部が採めたりすると彌々光る谷口氏の德

◇鈴木老町長の火消し役で小濱消防內紛下火となる

◇バットは萬年筆より重いぞ。記者諸君しつかり

◇殘暑の犧牲、七歲の男兒溺る

◇二百十日の前日だと云ふに氣溫尙ほ九十度。稻穗益々孕む

○……○

漫筆餘瀝

小野生

▽弔栗田秋之助君靈

人生悲哀と稱する中に死別程悲痛に堪い難きものはなからう。殊に愛兒、愛妻慈父母、而して親友知己などは何れを先きにして何れを後に考ふべきかを迷ふ事さへある。

この死別中にも死別の年齡に依つて其愁痛の程度があるが、茲に肉身と他人とを不問青春時代の死別こそは悲痛の極愁傷の大なるものでなからうか。

栗田君は僕の知人である事に誰しも異論はない。而して或時は子としての任務にさへ當つて吳れた事もある。或時は友人として大義を盡し吳れた事もある。

特に獄舍生活中の半歲に互るあの慷慨悲憤時代にはなま中敎誨師などの說敎よりも信仰深い君の文通こそ幾層倍か僕の心をして蘇生の鞭撻となつたか知れやしない。

この若き青年栗田君は全くの童貞を守つて文藝に精進し、水工の書記として麗才を縱橫に其職務上に現はし會社內重要の位置を與へられて居たのも決して偶然ではない筈である。

家庭內の君は又珍らしい程の孝行もので父母に仕ふる、其孝養ぶりは他の人の羨む的となつて居た。母は非常に持病（癪）が强かつたその素人治療の妙諦を吞み込むでイザとなると君のやさしい手は國手を凌ぐほどの効果を奏する樣になつた

かくも內外になくてならぬ君が喉頭癌と云ふ、聞くもいま／＼しき病氣に襲はれて半歲も病床にうめきながら然かも悲觀もせずに死を待つ如く悠々として臨終に笑み含むで他界したとの事であつた。

何ぞその大悟し徹底したるの多き、齡僅に廿六にして、能くも茲まで信仰に沈み得た事よ。かくも信仰の力は死猶歸するが如く大往生を遂ぐるの境地を作り得た君の一生には殊に敬服を禁じ難きを感じたのである

嗚呼親愛の友、栗田君は前途有望の大志を懷いてまた蕾の儘この世を去つた。實におしみても餘りある事である、然し世の中には殆醉生夢死に終るものも決して少くない、而かも其生存は僅かに二十有六年に過ぎぬが出つるも、入るも、なくてならぬ働き手として世間からおしまれた。君の死は誠に悼ましい次第であつて從つて百歲の長壽も保つも、爲す段なく徒食惰民としての夢に終始するものと比すれば其相違は實に霄壤であらう。君以て瞑す可きである。

今や君の靈は幽明境を異にして呼べども叫べども又歸らさる事となつた。噫悲しい極みである。今君の靈を弔ふべく此拙文を草するに際し悲淚潸々として頰に傳り意を盡し難く胸せまつて文を爲さす噫矣。

講談 お蘭陀お蝶

（121） 渡邊默禪作 布施長春畫

とも知らぬ二人、奉行のお召しと云ふので何心なく其庭へ出ると荻生が控えてゐて一々不審の箇條を開き糺し、大事露顯と胸を冷やし氣逸の小泉は拔き討ちに荻生へ斬り付けようと刀へ手をかけたところを傍で立會つてゐた公用人の武善之助と云ふが機を制して立揚りさま發矢と其の右腕を斬つた、すわこそと物影にかくれてゐた與力同心十餘人一度にばら／＼と躍り出して二人を包圍しつゝたゝみかけて取押へようと犇めく

二人は死物狂ひである白刄を打揮り／＼一氣に敵の中を突破してまつしぐらに表門の方へ逃げ出したが激しく迫り來る捕手方に亂擊され、小泉は右の腕に重傷を負つてゐることゝて身体自由ならず、遂に庭先で滅多斬りにされ同志にさきかけて命を落とした、

でも瀨田は有名な劍客である、此處で犬死をしては大鹽先生に知らせるものがなくなると思つたので必死の勇を揮つて斬り廢け突伏せ、辛くも一方の血路を開いて隣地の御代官所邸內に逃げ込み、それから往來へ躍り出して天滿橋を渡り大鹽の屋敷へ驅けつけた

大鹽の住居に頗る手潤い塾は故塾、中塾、新塾の三箇所に分れ朝夕出入する門弟は二百を下らず、その他の校友が千人と註せられ何か儀式でもあると四方から集まつて來て門前に市を成す有樣、それだけの人を收容する位のところであるから、宛ら小代名の屋敷か藩邸を凌ぐ程の規模であつた

十九日には愈々事を擧げる手筈だつたので檄文を飛ばし、人を走らせ當日屋敷に於て施米をすると觸れさせたので一味徒黨の面々を初め、門弟及び貧民など五百餘人も集合した、大鹽が斯くして內々の準備を急いでゐるところへ、瀨田が血塗れになつて驅け込んで來たのである

大鹽は廣庭に人數を集め施米と稱して焚出しをさせ物の具の用意とり／＼今にも兩奉行が組屋敷を見廻に出たと云ふ注意があるかと待ち受けてゐる、所へ瀨田濟之助が大童の素跣、渾身數箇所に負傷したなりで馳けつけて來て大事發覺小泉が斬死した事を告げ速かに討つて出て敵の機先を制する樣にと促がした

どちらにしても今日は旗揚げをする筈露見したればとて別段驚くにもあたらぬが、只兩奉行を袋詰にして一擧に叩き殺す寸法が狂つたのは殘念千萬の事である

諾、それならば臨機の策をと大鹽は頷いて直ちに來會者五百餘人を呼び集め、其の面前に突立揚つてこうがい悲壯なる一場の演說をした、それは檄文書いた樣にな意見を一層痛烈に敷衍したものであつて幕吏奸商の攻擊から非常手段に訴ねて天下無告の窮民を救ふの止むべからざるを說き、身を殺して仁を成すの覺悟事を果すべき一般方略等を仔細に述べ聞かしたのであるが音吐朗々、鐘の如き上に條理井然人の肺腑を貫く樣な雄辯衝も悄迫り意激しく淚はホロ／＼と聲の下から玉走り墮つる

大人物として崇拜した先生が世の爲め、人の爲めに命を捨てて其の義擧を企てたといふのであるのに、爾も目指す敵つ鬼のやうな仇の樣に思つてゐた役人と金持ち、其れを屠つて平生の怨を霽らした後、餓死の慘めな狀態にある貧民を救けるのである

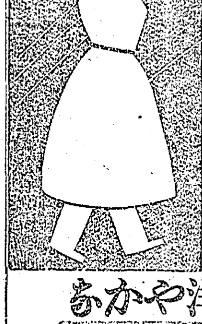
此の時、此の場合、何人か異議あるべき、言々句々落雷火の如き其の絕叫に强くむち打たれ、焚かれ、煽られ、魅せられて數百の逸雄ひとしく我を忘れて手を揚げ足を踏み鳴らして吶と一度にかつさいした、かつさいの唸りは物凄い鯨波と化して大氣を震はし屋をゆする、其の動搖の中に人と云ふ人の肉は慫き血は躍る

ラヂオ

仙臺 JOHK ……一日…（木曜）…

△前六、〇〇A ラヂオ體操
△六、三〇B 家庭敎育講座（子供の生活の見方）廣島文理科大學敎授文學博士久保良英
△七、〇〇B エスペラント講座 進藤靜太郎
△九、〇〇A 氣象
△九、一〇 震災記念九年祭追悼法要狀況（本所震災記念堂より中繼）
△一一、五五A 打鐘（三點）
同上
氣象
△後〇、〇五A 吹奏樂 陸軍戶山學校軍樂隊
△〇、四〇A ニュース
△二、〇〇A 婦人講座（職業婦人に就て）市川源三
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇A ニュース
△五、三五 講演（交通安全運動に就て）宮城縣警察部長鈴木登
△六、〇〇A（子供の時間）お話（誘惑に勝ちし二青年）山室軍平
△六、二〇A コドモの新聞 村岡花子
△六、二五A カレント、トピックス ハロルド、パーマー
△六、三〇A 夏期英語講座 磯谷榮
△七、〇〇A ニュース 氣象 生繭相場
△七、三〇A 講演（新興日本の建設へ）齋藤首相 中島商相 後藤農相（首相官邸より中繼）
△八、三〇 獨唱（新日本建設の歌）永井柳太郎…作歌 吉田二郎
△八、五〇A 連續浪花節（水戶黄門記）春日亭淸吉
△九、三〇A 時報
△九、三一A 滿洲より（武藤大使の着奉を迎へて）奉天市長閻天拔
ニュース 氣象 生繭相場

吉田眼科病院
平町紺屋町


御子樣用 防水マント
御子樣方の御通學に是非必要な防水マントを種々取揃へました。
◈ゴム引………0.85より
◈中ゴム………1.30より
◈同（女兒用）…1.40より
通學服も種々取揃へて御座います。
あかや洋服店 平三 電203

專門 一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

專門 氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、
（入院隨意）
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話 四八二番

內臟外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院

內科 一般
醫學博士 難波睦
難波醫院
平町大町新川端（電話五〇二番）

外科 專門 X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
平南町
病室完備
上田醫院（電話 一二九）

內臟外科 整形外科 泌尿器科
醫學士 內木宗八
外科 產婦人科
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
平町田町（元合津醫院跡）
井阪醫院
電話五五九番

內臟外科 外科一般 花柳病科
（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話 三〇九

セダン揃ひで！
貸切專門の！
昭和タクシーへ
三四三番（サシミ）

谷口氏を喪つた今日 料理屋組合長は誰？

後任を産む迄陣痛は長く續かう 有識者間に婦人幹部推擧説有力

谷口組合長を喪つた平町の料理屋組合では同氏の急死を轉機として後任組合長の決定其他に關し或る程度迄內部の統制が紊れる事は目下の處殆ど必至の勢に在る卽ち從來の組合は人格德望資力の點に於て六十餘の組合員中他に比肩すべきもの無き嶄然超越的立場に置かれてあつた谷口氏を組合長として始めて多くの紛紜なく納まつて來たのであるが今後の組合統制者として前記の資格條件を具備せる適材を求むる事は差當り全然不可能事で無いにせよ極めて至難の事に屬するものの如く而も行司毎に苦心慘憺するやうな資力の餘り潤澤で無い處が、遂に優越な人物を網羅する藝妓屋組合等を向ふに廻し樽俎折衝宜しきを期して進み行く事は相當の困難を伴ふものと觀るが至當らしいからである、一体組合は加入者六十餘名の中女名儀の組合員が二十餘名あり、之等は組合長以下幹部選擧の選擧權を有するも被選擧權を有せず、中には某々の如く押しも押されもせぬ資力を有するのみならず有爲男子をして顔色無からしむる迄の立派な意見を有し乍ら婦人の代表を第一線に起たしむる事が出來ぬ從來の制度ではあたら意見も其の儘葬られるが常で此の場合穩健なる谷口組合長なるが故に不平の表面化を見なかつたものの今後は恐らく根本からその空氣を一新されるので其の間の適綏和策としては從來の如き男子偏重の舊殼を脱し女營業者の幹部被選權を認め代表者を擧げて終始懇談的に組合の圓滿發達を期すべきであると云ふのが組合內外の有識者の見解で此際男子側に之の雅量を缺くが如き場合あらば似たりよつたりな團栗のせい較べ的組合員間に於ける採め方も蓋しなみ大抵ならぬものがあらうと觀察されてゐる、何れは谷口前組合長の墳土漸く乾きかゝる頃に於て論議される事であらう

地方繭市況 三十日分

四倉の最高四十五圓

昨三十日の繭市況左の如し

四倉 貫數千四百七十貫 最高四十五圓、最低三十六圓五十錢、買馴四十一圓八十錢、掛目四十一

植田 貫數三百五十貫、白最高三十九圓二十錢、最低三十五圓、買馴三十七圓九十錢、掛目三十七、黃最高四十圓、最低三十五圓、買馴三十七圓九十錢、掛目三十八

郡果實組合長會 三日午後一時から平町團体事務所で開き梨品評會の開備と出荷打合をなす

小名濱消防紛紜に圓滿解決の曙光

町長の調停で遽に好轉

小名濱消防組の紛糾は第二部幹部宮城辭翁氏外第一二部組員若干名が辭職を申出て以來組頭派と反組頭派との反目が一層激化して殆と收拾すべからざる狀態となり相互に聲明書其他の印刷物を配り心ある町民の頻燧を買つて居たが二十九日鈴木町長が調停に入り反組頭派幹部を役場に招致して懇談の結果町長が一切を引き受け一兩日中關係者と會見して折衝する事となり漸く圓滿解決の曙光を見るに至つた

日刊記者野球チーム組織

入山、磐炭と試合日取り決定

平日刊新聞記者有志は体育の向上と親睦の意味から左記メンバーの野球チームを組織し來月十一日入山、十八日磐炭と處女試合を行ふ事となつた

投	金子	報知
捕	中山	民報
一	河瀨	東朝
二	野澤	時事
三	吉田	民報
遊	岡田	時報
左	安齊	本社
中	橋本	常磐
右	大內	いはき
補	國井	本社

保安衛生の見地から レン炭工場新設に反對

七丁目住民の蹶起に成行きを刮目さる

平町七丁目地內へ同町坂本實氏外三名が合資會社組織の煉炭工場を新設する事に決定し昨三十日基礎工事に着手したが同町には以前から釜淸煉炭工場があり從來再三の出火騷ぎと煤煙の被害で區民は非常なる迷惑を被りさらでだに既設工場の移轉說さい高まつて居る折柄とて區長代理志賀兵吉氏外附近關係住民が急遽設立絕對反對の調印を取纏め同日中地主郡山市橋本萬右エ門氏に敷地貸與反對の申し入れをなしたが既に貸借契約の成立後であり基礎工事は初期の計劃通り着々進められて居るので地主の態度如何に依つては相當な紛糾を免れぬらしい

堀坂隧道切開着工

延べ五千餘名を使用し 來年二月七日迄に完成

綴、湯本間堀坂小隧道天井殘存部三十米の切開工事は堀江工業會社の手により愈々明一日より着工來年二月七日迄に竣功するが費用一萬圓使用延人員五千餘名であると

滿洲行 藤田中尉 —第六十二信—

第三事變前に於ける長春附近支那軍の配置の槪要 (續)

◇東方には長春城內に兵營あり、歩一大、山砲中隊、MG迫、其兵力約七百北方には寬城子部落に兵營あり、歩一大、其兵力約六百五十、而も八月に入つては長春附屬地に對し工事を實施し兵器彈藥の如きも各自の室に格納せしめ變に應する準備をなして居つたのです。

第四我駐劄隊が先づ第一に砲兵を攻擊したる理由。

◇吾々が昨年四月當地に參りまして以來日に日に日支間の空氣が惡化するので何時如何なることがあつても此れに應ずる丈けの準備と研究とを常に怠つたことはなかつたのであります然し兵力に於ても又火砲に於ても我軍は常に不利の位置にあつたのであります。殊に支那軍はたいしたことは無いとは申しては居りますが

◇未だ腕試しをした事がありませんので如何であるかと疑つた點もあるのみならず、決して馬鹿にして掛る譯には行かん、夫れで兵棋や圖上等で研究して居つた譯です。そこで長春到着當時から何か支那軍と事が起つたら何はさて置き第一に南嶺の砲兵を破壞することが當時の聯隊長大島大佐の持論でありました丈け

◇研究は相當深刻に進められてあつたのであります、夫れは申す迄もなく南嶺の砲兵は大阪の砲兵工廠製の三八式野砲でありまして頗る精銳な兵器であります、夫れで一旦干戈を交へたなら必ず兵營は勿論附屬地に對し射彈を集中し我に一大脅威を與へること必然なるのみならず敵が步兵のみならば我殘留部隊にて充分であるが精銳なる

◇大砲を持つて居ることであるから寧ろ我より進んで敵の大砲を破壞し其企圖を挫折せしむるを有利と判斷し常に砲兵を第一に攻擊することに決めて居つたのであります。

第五、十八日の事變勃發より各部隊屯營出發迄

◇十八日の事變は我々として常に覺悟はして居つたものの全く寢耳に水とはこのことでありました。新聞等では大部計劃的であるとか、何んとか特筆して居るのも見ましたが其れは揣摩憶測も甚だしいことだと言はざるを得ません。丁度其の晩は鈴木大將閣下御來長になられ官民有志の者が相集り

◇歡迎會があつたので夜遲くまで飲んで居つた樣な譯で又其翌日の十九日は第一大隊の戰鬪射擊がある爲前日多數の先發員が石牌嶺と云ふ射場に出かけ事變後それを呼び寄せるため非常な困難をした樣な譯でした。

あす始業式

平町各小學校では明一日午前九時から始業式を行ふが終つてから各校とも教員のみ昨年十月高師六十年記念式に際し文部大臣に賜はつた勅語奉讀式を擧行すると

遞講生試驗

あす訓盲院で執行

平局管內の遞信講習生試驗は明一日から二日間磐城訓盲院で算術、國語、作文に就て行はるが受驗者七十二名で前回より約十名の增加であると

古河組優勝

勿來で催された地方弓道爭覇戰

勿來町弓道會支部主催第十七回石城、多賀郡下弓道優勝旗爭奪競技會は二十八日同町弓場にて開催したが參加六十四名競技の結果好間村古河組が優勝旗を獲得したが個人成績は左の如し

1尺二的皆中—高萩松本 松2七中—好間鈴木敬五 3七中—湯本菊地幸次郎

度量衡檢查

成績稍々向上

平町の度量衡檢査は二十七日から五日間平署會議室で行つたが桝二千百十餘、天秤七千七百三十餘、計九千八百七十餘（一、一四〇人）中不合格で破棄されたもの桝百五十二、天秤三百五十八計五百五十あり成績は米突法の實施により舊式の器具が漸次減少し昨年と比較して稍良好であつたが縣全体から見ると鹽物を扱ふ爲に濟通りは一般に成績惡いと、尙ほ今三十一日は午前九時から未提出約百餘區の追加檢査を行つた

豚コレラ平入り

堤の內から發見 直に撲殺大消毒を行ふ

勿來から北漸して小名濱、江名と脅かしつつある豚コレラは更に平に飛び火して今三十一日平町堤之內深谷某飼育中の一頭がコレラと判明町役場に屆出たので渡邊衛生係は平署土屋技手と共に之を撲殺し附近の大消毒を行つた

梨果立木品評會 內郷村農會主催の梨果立木品評會は明一日午前九時から現地で開く

平局扱電報增加 昨今の景氣と果して如何なる關係を有するか平局取り扱ひの電報數は常近頓に活氣を呈し發受信普通一日平均百六十件の處へ約二割增加し係員をして少なからず張り合ひを感せしめてゐるが驛の貨物の動きには未だ何の影響もないと

石城勞働者平和會發會式

二日聚樂館で開催

地方在住勞働者共同の利益開拓を目的とする磐城勞働者平和會の發會式は明後二日午後六時から平町聚樂館に於て開催するが現在會員三百名に上り多數出席を豫想されてゐる

柴田署長歡迎宴 勿來町有志の新任柴田植田警察署長歡迎會は此程同町東屋に於て開催盛會を極めた

三ケ月に十二萬圓

四倉漁業組合の最近成績

四倉漁業組合に於ける去る五月以降七月迄三ケ月間の漁獲高は合計十二萬九千四百六十七錢であると

鰤三千貫

豐間大敷で漁獲

豐間大敷網では近來漁と云ふ程の漁が無く些か悲觀の態であつたが昨三十日一擧に鰤三千貫この價格四千二百圓を漁獲し活氣を見せてゐる

通貨僞造未遂 支部の豫審へ

銀貨僞造未遂前科十五犯內郷村小島金成勘七(五二)は平檢事局に於て取調中であつたが此程起訴され豫審に附された

今夜 赤井嶽祭

今卅一日の赤井嶽藥師例祭で平驛前は汽車、自動車利用の人波で身動きも出來ぬ混雜を見せ驛では朝來附近各驛と打合せをなし輸送上遺憾なきを期してゐるが五時、六時には相當雜踏するだらうと

殘暑の犧牲

夏井川で幼兒溺死

赤井村鹽田二六美一三男佐藤美長(八)は兄進(一七)と昨三十日午後三時半頃夏井川に於て遊泳中溺死した

谷口氏盛葬

けふ天理敎墓地で

平町谷口樓主谷口長治氏の葬儀は今三十一日午後二時自宅出棺天理敎墓地に於て告別式を執行したが商友會青年團、料理屋、藝妓屋兩組合關係外多數會葬、各方面から贈られた花輪其他供物、弔詞、弔電等で故人の最後を飾られた。鈴木代議士の弔詞(千葉辯護士代讀)次の如し

弔詞

溫容優雅宛として珠の如かりし谷口長治君、今や忽焉として東岱の雲深く隱る悲み曷んぞ堪へん、君資性謹嚴重厚身を修め家を齊へ進止行藏悉く衆の儀表たるものあり推されて商友會長、青年團副團長、料理屋組合長たりしが如き一に其の人格德望の反映たらずんば非ず而も齡未だ而立を出づる三歲今後君の經綸に庶幾する處倍々多きに際し突如この高材を喪ふ銷魂惆悵誰か哭せざるものぞ然りと雖君が生前の篤行と寬容なる風格とは不磨の範を後人に垂れて永く滅せざるものあるべし以て瞑すべきなり恭しく弔す

昭和七年八月三十一日

衆議院議員 鈴木辰三郎

アイスクリーム

四千五百圓分消費 平署調査の概算高

今夜が赤井嶽例祭あすが二百十日だと云ふのに每日九十度を上下する昨今の殘暑に例年なら既に店終ひする氷雪業者が今年は今尙ほ眞夏同樣な繁昌振りを見せて居るが此程平署で調査した管內今夏中のアイスクリーム製造概算高は百九十六名で四千四百六十貫價格四千五百五百餘圓で前年より約一割弱の減少を示した

子には勝てず

家出女房捜索願ひ

川部村大字瀨戶荒川丑吉(三二)の妻ハル(三二)は昨年三月二十七日家出してそのまゝ行衛不明となつてゐるが人の話では水戶にゐるらしいといひ春由(七)秀吉(九)の二人の子供に母に逢はしてくれとせがまれるので子供には勝てず二十八日子供の手をひいて水戶市內を探し廻つたが判らず水戶署を訪れ搜索方を願ひ出た

懲役三年

七犯男へ けふ平區で判決

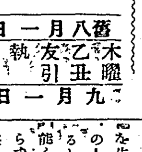
竊盜前科七犯山形縣西置賜郡小島本村生れ遠藤榮(三二)は平商校、磐中其他十ケ所から十三件の竊盜を働き今三十一日午前九時平區で中島裁判長から懲役三年を言渡された

東京小劇場 明一日から レヴュー團の平館は郡司のぶ子と一黨が乘り込みダンス、レヴュー、舞踊、寸劇其他を上演する外大河內傳次郎、片岡千惠藏の『明治元年』岩田祐吉、八雲惠美子の『麗人の微笑』の提供映畫あると

ラヂオ體操成績 平第一校今夏中のラヂオ體操出席者は延五千七百六十二名一日平均百八十六名で最も成績良好だつたのが六年一組鈴木訓導受持の一日平均二十七名だつたが全校生千五百名から見ると二割に過ぎないと

女郎屋から盜む 住所不定山形縣西置賜郡都町內藤鶴吉(三五)は鎌田遊廓某方から眼鏡外雜品を竊盜し今三十一日身柄送檢

舊八月一日 木曜 乙丑 友引 執 斗宿 九月一日



諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 師に從ひて道を問ひ長者に隨ひて事を謀れ▲二黑の人 內外さく亂を生ぜんとする日靜止が至極安全▲三碧の人 親睦汝を玉とす忍耐して時の來るを待べし▲四綠の人 せい意を欠き人和を失へば身の詰りを生ぜん▲五黃の人 策謀實行の緒に就く事を得るも急進を戒む▲六白の人 才幹能く窮境を凌ぐも仍屆の企ある可らず▲七赤の人 運氣旺盛にして益々粘着力を加ふれば繁榮▲八白の人 才能有りとて誇るな敬遠せられて身立たず▲九紫の人 大計畫も成就すべき盛運の日起業着請赤吉

夜間診療

胃腸 梅毒

內科 十二指腸潰瘍病 專門

淋病 皮膚病 婦人病 專門

內科部 外科部

松村胃腸科醫院

(平南町電話一〇一七番)

◎日本石油株式會社特約店 ライジングサン石油株式會社重油特約店

關彰商店平支店 電話六一番

本店 水戶線下館驛前 (電話五五番)

支店所在地 茨城縣土浦町田宿 (電話六五三 八二四) 常磐線關本驛前 (電話平潟五四) 常磐線四倉驛前 (電話四八)

營業種目 石油揮發油輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ……〔型錄進呈〕

◇安全、便利、經濟のスタデリナ石油コンロ ◇完全燃燒のネンショーストーブ

季節御料理 一人前

柳川 金二十五錢ヨリ

うな井 金三十五錢

蒲燒 金五十錢ヨリ

右大々勉强出前迅速

大蒲燒 鳥料理 壽司 折詰 仕出し部

田町 魚榮 電話四二四番

御會葬御禮

八月三十一日

平町二丁目 谷口トヨ